

# に よ ど 川

仁淀川町広報

2008

11月号

「対話と実行」座談会

秋葉神社・結婚式と秋葉大祭

まちの自慢 池川茶業組合／ゆの森

中学2年生職場体験実習

# 厳しい中でも前向きに希望を持って

## 「対話と実行」座談会

九月二十日、中央公民館で尾崎正直知事と町民代表九人による「対話と実行」座談会が行われました。この座談会は、知事が直接地域住民と対話することにより、地域の実情や課題を把握し、これからの県政に反映させるために、全市町村で行っているものです。

まず知事より県の財政方針などについて説明が行われた後、地域づくりや産業振興に携わっている方など各方面で活躍されている九

人がそれぞれの活動状況や地域の課題などを熱く語りました。知事は一人一人の話に真剣に耳を傾け、それぞれに感想や助言を述べました。

参加者と意見交換の主な内容は次の通りですが、詳細については、高知県のホームページにも掲載される予定です。

<http://www.pref.kochi.jp/~kensei/zadankai/index.htm>

# を熱く語る



**中越伊勢夫さん**  
(秋葉まつりの里を元気にする会・えんこ蔵会長)

秋葉まつりの里・別枝地域を活性化するために会を発足。「仲間を増やそう。稼ぎを増やそう。ファンを増やそう」という3本柱で活

動を進めている。

〈知事〉秋葉まつりやしだれ桜などの資源を上手に組み合わせ、多くの人に来るように、また地場製品の販売の仕組みを確立すると活性化につながっていくと思う。



**藤原富子さん**(吾川森林代表取締役)

木材を売るというだけの営業では難しくなってきた。住宅に使われる和紙や漆喰などの資材も一緒に売ろうとしている。それにプラスして地域のトマトやお茶のPRもし

て、地域おこしにつながればと思っている。

〈知事〉地域おこしという観点で産業を関連付けていくということが重要ではないか。1次産業の産地を観光や教育の場として生かしていくなどの取り組みが重要だと思う。



**西森直隆さん**(長者地域長)

後継者不足で荒廃している棚田を活用したイベントなどで地域の活性化を図っている。しかし高齢化が進み住民力だけでは限界がある。よい方法や対策はないか。

〈知事〉県にはいろいろなタイプの支援策がある。財政的な問題もあり限界はあるが、一緒に知恵を出させていただくこともできるし、補助金という形で対応できることもあるのでご相談をいただければと思う。



**竹村憲太郎さん**(池川茶業組合長)

消費者にお茶を飲んでもらい、納得した上で直接買ってもらうなど、小売をいかに増やしていくかを考えている。関西茶品評会で農林水産大臣賞を受賞できたので、自信を持っていいのではと思う。急須に入れて飲むお茶をもう

一度多くの人に知っていただきたい。

〈知事〉町のブランドを作っていくということで、農林水産大臣賞ということをぜひ生かしていただきたい。

# 知事と住民が地域活性化

## 栗田桂子さん(ターンのお茶農家)

東京生まれで現在池川に在住。高知大学の学生時代に仁淀川町のお茶のおいしさを知り茶農家を選んだ。しかしお茶の価格の低下、高齢化などで産地として持続できるのか不安もある。



〈知事〉原油・資材の価格が上がり本当に大変でいらっやと思う。県も、販路の開拓や売り込みの場を用意することなどについて、一緒に汗をかかせていただきたい。

## 左京憲昌さん(仁淀川森林救援隊副隊長)

シナアブラギリ(石油に変わるエネルギー源とされる植物)を育てて持続可能な所得向上を目指したい。町は既にバイオマス実証実験をしている。それと組み合わせれば石油製品を全然使わず、持続可能なバイオマスエネルギーということで、環境立県の推進のお役に立てるのでは。



〈知事〉県の研究機関に話をつながさせていただきたい。バイオマスエネルギーの関係は、一般論としてコストが見合うかどうかという問題もある。

## 田頭記世さん(フードプラン営業部長)

地域で取れるおいしいものを山里から発信していきたいと思っている。3月からは町の農家が作った野菜などを高知市のスーパーで販売している。野菜はほぼ売り切れることから、農家もやりがいを感じているようである。田舎も活気が出てきたのでは。



〈知事〉素晴らしい模範的な取り組み。このようなことこそ、地域の榮えにつながることはないかと思う。

## 植木友里江さん(高知大学3年生)

池川出身。町役場でインターンシップをしているが、地域と接して問題や現状を知ることができた。学生が田舎に職業体験に来るということを支援していただけたら、地域のためにもなるし自分のやりがいも見つけられると思う。



〈知事〉職業体験については、高校までは県立ということもあり取り組んでいるが、大学生版ということも考えた方がいいのかもしれない。



### 〈知事のまとめ〉

本日、地域地域の厳しい状況のお話もいただきましたが、他方で、そういう中でもこういう形で前向きにやっていくという非常に積極的なお話も伺えたと思う。仁淀川町が活発にいろいろなことに取り組んでおられるということを感じたし、また将来に希望を持てるまちづくりというものの一つの形を伺わせていただいたと思う。私自身、今日は元気をいただいたような思いがする。

今後とも頑張っていたきたいと思っているし、県としてもその取り組みなどをいろいろ学ばせていただいで、今後に生かさせていきたいと思う。今日のやり取りについては、記録を作り、関係部局で共有して参考にしたいと思う。

## 掛水笑子さん(森山地区長)

地区の若者が立ち上がって自主防災組織を設立。また「森山女性なんでもクラブ」ではお茶を使ったまんじゅうを作り、各方面で好評を得ている。住民が助け合って地域づくりに一生懸命取り組んでいる。



〈知事〉(まんじゅうを食べて)とてもおいしい、素晴らしい。自主防災組織がしっかりしており、理想的な姿だと思う。

◀秋葉まつりがご縁の片岡さん夫妻

初の結婚式

10月4日 「秋葉神社で式を挙げたい」との念願が叶い、片岡太智さん、沙織さんご夫妻（五味）が同神社で初めてとなる結婚式を挙げました。秋葉まつりの「鳥毛」役をこなしてきた太智さん、また沙織さんもまつりの準備のお手伝いをしています。まつりがご縁で結ばれたお二人は「皆様のご協力で式を挙げることができました。うれしかったです」と喜んでいました。



秋葉神社



境内に鳴り響く太鼓の音▶▶▶

10月11日 秋葉神社秋季大祭に大勢の参拝者が訪れました。また境内では玄蕃太鼓振興会による和太鼓の演奏が行われ、いつもは静かな神社周辺に勇壮な太鼓の音が鳴り響きました。

秋季大祭では、一昨年は池川神楽、昨年は都の太鼓踊りが奉納されました。今後とも町内の文化に触れることのできる行事を計画していきたいとのこと。

..... 太鼓に合わせ優美な舞 .....



9月21日 都の安徳天皇御陵地で太鼓踊りが奉納されました。その昔、屋島の戦いに敗れた平家一門がこの都に落ち延びたという伝説があります。そのとき伝授されたのが「太鼓踊り」で、男性は菅笠をかぶり二またの木の撥で歌に合わせて太鼓をたたきます。女性は歌と太鼓に合わせて扇をひらひらと操り、優美な舞いを繰り広げます。

別名「都踊り」ともいわれる太鼓踊りは、毎年旧暦8月22日に奉納されています。

都の太鼓踊り

「都太鼓踊り保存会」では、平成20年度宝くじ助成事業を受け、太鼓踊りで使用する音響設備、太鼓、着物などを新しく購入しました。この事業は財団法人自治総合センターにより、地域コミュニティの健全な発展を図るとともに、宝くじの普及・広報を目的として行われており、皆さんが購入された宝くじの収益金が財源となっています。



宝くじは豊かさ築くチカラ持ち。

宝くじは、広く社会に役立てられています。

購入した道具は、9月21日に行われた太鼓踊りでお披露目されました。



# 陸上競技で4選手が好成績

## 県民スポーツフェスティバル2008

10月5日 生涯スポーツの祭典「県民スポーツフェスティバル2008」が、春野総合運動公園などで行われました。悪天候の中、町からは陸上競技に4選手が出場し、それぞれの種目で好成績を収めました。

陸上競技

〈砲丸投げ〉	壮年男子40歳代	第1位	沖 勇一 (大崎診療所)	10m51
〈60m走〉	壮年男子70歳代以上	第2位	田元 久木 (久喜)	11秒51
〈100m走〉	壮年男子70歳代以上	第2位	田元 久木 (久喜)	19秒41
〈砲丸投げ〉	壮年女子40歳代	第1位	渡邊富美子 (大崎診療所)	6 m20
	壮年女子70歳代	第1位	山田 静香 (加枝)	5 m04
〈60m走〉	壮年女子70歳代	第1位	山田 静香 (加枝)	15秒39

※上記の結果、壮年女子団体の仁淀川町が第2位となりました。



沖 勇一さん



田元 久木さん



渡邊富美子さん



山田 静香さん

## 秋晴れの下 汗さわやかに!



### 池川地区運動会

10月12日 秋晴れの下、池川地区運動会が池川小学校運動場で行われました。

リレーや綱引きなどおなじみの競技のほか、幼児から高齢者まで参加できる競技が盛り込まれ、大勢の参加者は、さわやかな汗を流しながら楽しい1日を過ごしました。



10月12日 約四百人が参加して星ヶ窪ハイキングが行われ、さわやかな秋の一日を楽しみました。会場のキャンプ場では、一圓想の和太鼓演奏や大目真壱さんによるオカリナ演奏、森秀一さんの青空コンサートのほか、きんま(ソリ)遊びや、げた飛ばし大会など盛りだくさんの内容で、会場には終日にぎやかな歓声が響いていました。



会場となった星ヶ窪キャンプ場

## 秋を感じるハイキング 星ヶ窪に400人



10月12・13日 池川小学校体育館で、小・中学生の作品や一般の方々写真、生け花、手芸品など数々の力作を集めた文化祭展が開かれました。

## 力作ぞろい! 池川文化祭展

